

【参加費】

☆現地参加☆ 10,000円 交流会参加費:8,000円

- ・部分(1日や分科会のみ等)の参加費は設定いたしません。2日間分での申し込みとなります。
- ・会場の学食は休店、周囲には飲食店も少ないことから、26日の昼食にお弁当を用意いたします。ただし、アレルギーには対応できません、また上記参加費に弁当代を含んでおりますが、不要の場合の返金も致しません。
- ・会員、非会員を問いませんが、8月中を会員の優先申し込み期間とさせていただきます。各分科会には教室の収容定員に伴う上限がございます。ご希望の分科会が申込締切の際は、ご容赦ください。

☆オンライン参加☆ 個人:会員4,000円 非会員5,000円 団体・園:会員8,000円 非会員10,000円

- ・1画面(アクセス)を2人以上で視聴される場合は、団体・園として申し込んで下さい。
- ・後日配信(12月4日(月)～年内)の視聴を希望される場合も、オンライン配信を申し込んで下さい。後日配信の分科会は①佐藤先生、⑥辻先生とさせていただきます。
- ・オンライン配信では、初日の分科会は①佐藤先生ですが、二日目は⑥辻先生か、⑩交流会を選択して下さい。

【お申込み】

会員の方は8月1日(火)、一般の方は9月1日(金)より下記申込サイトからwebにて申込受付を開始いたします。(申込締切 10月25日(水))

現地参加の方の宿泊につきましてもご案内しておりますので、ご覧ください。

<http://www.mwt-mice.com/events/kodomokosodate-yamagata12>

<お問い合わせ先> 名鉄観光サービス(株)仙台支店(志賀) k-hoiku@mwt.co.jp



【お問い合わせ:入会】

会員の年会費は2,000円です。ご入会頂くと、分科会の優先申込が可能になります。是非、支援センターや園として、また個人での入会をご検討ください。

ここネット事務局(国重) <https://www.kokonet.org/>



【主催団体:日本こども子育て支援連絡協議会(通称:ここネット)】

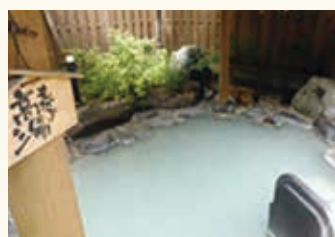
ここネットは、子ども・子育て支援の理念を共有するとともに、全国の子育て支援者間の連絡調整を図り、情報の共有及び子ども・子育て支援に関する調査、研究、研修を行い、総合的な地域の子育て支援の機能を有効に活用して、全ての子どもの健やかな成長発達と家庭や地域社会を含めた子育て環境の向上に寄与することを目的とする任意団体(2022年度:会員254園・個人)です。

【お問い合わせ:山形大会】 大会実行委員代表:下村一彦(東北文教大学:k_shimomura@t-bunkyo.ac.jp)

実行委員:佐久間美智雄(東北文教大学)、若狭谷亮(山形市:認定こども園ちとせ)撫養みず紀(山形市:木の実北こども園)、本間日出子(鶴岡:認定こども園三瀬保育園)、佐々木俊則(宮城県大崎:わかば保育園)、木村創(宮城県仙台:向山こども園)、伊藤和美(鶴岡:NPO法人明日のたね)、村山恵子(東根:NPO法人クリエイティブひがしね)、辺見妙子(福島:米沢:NPO法人青空保育たけの子)

【ご後援(申請中での予定を含みます)】

こども家庭庁・山形県・山形市・東根市・庄内町・東北文教大学
全国保育協議会・日本保育協会・全国私立保育連盟・子育てひろば全国連絡協議会



第12回

子ども・子育て支援
全国大会
in
山形

【テーマ】

新たな学びと繋がりを東北の子育てに

～くらし・遊びを大切にする子育て～

本大会は、子どもの最善の利益保障に関心のある方、その実現に向けて取り組まれている方(子育て支援関係者、保育者、養成校関係者、保護者、行政関係者)が全国から集い、学び語り合うことを目的としています。12回目となる今回は、初の東北開催です。幼稚園・保育所・認定こども園、公立・私立、支援センター併設の有無等、制度的な枠組みに囚われることなくご参加頂き、学びと繋がりの契機としたいという思いをメインテーマに込めております。講師の先生方、参加者の方と、子どものくらし・遊びの魅力や重要性を改めて共有しましょう。

【大会日程(敬称略)】 2023年11月25日(土)

12:30~13:30	13:40~15:10	15:25~16:35	16:50~18:00	18:50~20:50
開会式	全体講演 A 副島 賢和	全体講演 B 小西 貴士	分科会 [講師:テーマ:教室:定員] ① 佐藤:保育環境:631教室:240名 ② 若月:性教育:341教室:120名 ③ 国光:ミネラル:調理室:40名 ④ 梅津古瀬:民話:331教室:60名 ⑤ 杉山:職員連携:621教室:40名	交流会 (山形国際ホテル) 
子育て支援横丁 協賛企業出店				

【大会日程(敬称略)】 2023年11月26日(日)

8:45~9:45	10:00~11:30	12:30~13:30	13:45~14:55	15:10~15:40
・特別講演 ・情報交換会	全体講演 C 内山 葉子	総会	分科会 [講師:テーマ:教室:定員] ⑥ 辻:子どもの権利:631教室:240名 ⑦ 丸茂:地域貢献:331教室:60名 ⑧ 国光:ミネラル:調理室:40名 ⑨ 佐藤:保育環境:341教室:120名 ⑩ 杉山:職員連携:621教室:40名 ⑪ 高木:オンライン交流会	閉会式
子育て支援横丁 協賛企業出店				

分科会は、先着順の選択制となります

裏面の講師紹介・タイトルをご確認の上、お申し込み下さい。
なお、佐藤先生(分科会①⑨)と国光先生(③⑧)は、初日と二日目と同じ内容になります。他方、杉山先生(⑤⑩)は、2日間の分科会を通しての講義と演習ですので、杉山先生の分科会を希望される方だけは、⑤⑩の組み合わせを必ず選択して下さい。

〈会場〉 東北文教大学
山形県山形市片谷地 515 番地

※最寄り JR 蔵王駅で、徒歩 10 分です。プログラムは JR の列車時刻を考慮しておりますが、無料駐車場を十分ご用意しておりますので自家用車でもご来場下さい。車の高速利用ですと所要時間は、山形空港約 40 分、仙台空港約 90 分です。



【講師・プログラム紹介（敬称略）】

全体講演 A 副島 賢和（昭和大学大学院保健医療学研究科准教授・昭和大学附属病院内学級担当）

学ぶことは生きること ～子どもの姿と子どもの権利～

25年間東京都公立小学校教諭 内8年間昭和大学病院内「さいか学級」(品川区立清水台小学校 病弱・身体虚弱児特別支援学級)担任。2014年より現職。病気のある子どもの学びの保障について考えています。「学ぶことは生きること」「ひとりじゃないよ」「どんな感情も大切に」を伝える関わりを続けていきたいです。ホスピタルクラウン(病院の道化師)としても活動しています。ドラマ「赤鼻のセンセイ」(2009年日本テレビ)のモチーフとなる。プロフェッショナル仕事の流儀(2011年NHK)に出演。



全体講演 B 小西 貴士（森の案内人／写真家／ぐうたら村共同代表）

森からのまなざし ～僕が森で出会ってきた育ちの物語～

2000年よりハヶ岳南麓にある(公財)キープ協会にてインタープリターとして環境教育やESD(持続可能な開発のための教育)に取り組み、2015年からフリーランスに。子どもを含む「いのちを巡るうまく言葉にならないこと」をテーマに写真を撮り続けている。現在、汐見稔幸氏らと共に「ぐうたら村」という、持続可能な社会と教育・保育を結びエコカレッジを主宰。著作『子どもと森へ出かけてみれば』『子どもは子どもを生きています』『小さな太陽～倉橋惣三を旅する～』『チキュウニウマレテキタ』など。



全体講演 C 内山 葉子（福岡県北九州市葉子クリニック・院長）

子どもの脳とからだをまもる ～食と環境～

医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会認定専門医、日本抗加齢医学会専門医、日本ホメオパシー医学会認定専門医、日本心療内科学会登録医、リコード法認定医。平成7年関西医科大学卒業後、大学病院・総合病院で循環器・腎臓内科・内分泌を専門に臨床・研究を行った後、福岡県北九州市で自然医療や漢方・機能性食品などの補完・代替医療と西洋医学、こころのケアなどを統合的にを行い、全人的にみる医療で難治性の疾患の診療を日々行っている。著書『発達障害にクスリはいらない』『パンと牛乳は今すぐやめなさい』『子どもの病気は未然に防ぐ』『免疫力をととのえる薬膳酵素ごはん』など



特別講演 清野 京子（福島わらべうたサークル代表／さくらみなみ保育園子育て支援センター）

心とからだを育てるわらべうた

保育士として園児と「わらべうた」あそびを続けて10年経た時に、故降矢美彌子氏(宮城教育大学名誉教授)と出会い、福島コダライ合唱団に入る。歌を歌い、多文化音楽を学ぶ中で、乳児にとって大事なおっぱいのように「わらべうた」は日本人の心のふるさと・栄養として広がる大切なものと教えて頂く。「わらべうた」であそぶことの大切さを更に知ってからは、園児にとどまらず、保育士や学生、小・中学生にも「わらべうたのおもしろさ」と「わらべうたあそびの大切さ」を伝えている。月刊誌『ちいさいなかま』にわらべうたを連載、著書『はじめてのわらべうたーうたって 動いて 楽しくあそぼうー』(ちいさいなかま社)



分科会①⑨ 佐藤 将之（早稲田大学人間科学学術院・教授）

心を育てる こどものための環境

母親が山形出身で秋田育ち、秋田高校卒業、新潟大学工学部建設学科卒業、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了 東京大学大学院教育学研究科非常勤講師等を経て現職。『心を育てる保育環境』(小学館)で、こども環境学会論文著作奨励賞を受賞、近著に『まちづくり仕組み図鑑』(日経BP)など。



分科会② 若月 ちよ（かたくりの会会長／NPO法人ビーンズふくしま元理事長）

幼児期からの性教育 ～子どもの生きる力を育むために～

保育所を退職後、仲間と育児サークルを始める。1995年性教育の活動をする「かたくりの会」、1998年子どもへの暴力防止活動をする「こどもCAPふくしま」を設立。不登校の子どもを持つ親としてフリースクールの設立に関わり、2003年「NPO法人ビーンズふくしま」理事長に就任し、FS、就労支援、ユースプレイス、ひきこもり相談支援、放課後児童クラブ、子ども食堂などの子ども・若者支援活動を推進。昨年理事長を退任後も、性教育や子どもへの暴力防止プログラムの普及活動の他、活動の支援を続けている。



分科会③⑧ 国光 美佳（「子どもの心と健康を守る会」代表／一般社団法人国際食学協会理事）

食で変わる心と体 ～簡単ミネラルクッキング～

※簡単な調理ワークショップあり

大妻女子大学家政学部児童学科卒業後、幼稚園、学童保育所、NPO法人「食品と暮らしの安全基金」勤務を経て、共著書「食べなごや、危険」、月刊誌「食品と暮らしの安全」にて発達障害、低体温、睡眠障害の子どものミネラル補給による改善例を執筆。内山先生(全体C)と『発達障害にクスリはいらない』を執筆。現在、食生活相談と心のケアの両面から家庭教育相談、講演・執筆活動を行っている。健康誌「安心」にて「ミネラル健康レシピ」、育児誌「クーヨン」にて「ミネラルオーガニック給食だより」連載中。



分科会④ 梅津登喜子・古瀬 孝子（くまさんの会／ききみみの会）

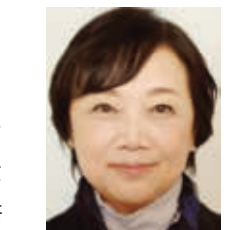
明日からの保育・子育て支援に民話や絵本を活かすことを願って

山形市立図書館ボランティアとして図書館を中心に、認定こども園・幼稚園・小学校などで、絵本の読み聞かせや「耳から聞く読書」と称するお話会の活動をしています。民話や絵本の実演を行うとともにその選び方などをお話し、質疑応答しながら、明日からの活動のヒントを持ち帰って頂きたいと願っています。

分科会⑤⑩ 杉山恵理子（明治学院大学心理学部心理学科・教授）

保護者の・自身の・職場のストレスに 向き合うファーストステップ

国際基督教大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(教育学)。四国学院大学社会学部教授を経て現職。精神科病院、市町村保険センター・保健所等において心理臨床活動及び母子保健・精神保健福祉活動に従事し、医療安全審議会、福祉事業団等の理事・委員として保健医療福祉行政にかかわる。母子保健に関しては、母親・両親学級、産後の母親グループセラピー、地域子育て支援拠点・保育士・助産師などを対象とした研修をおこなってきている。精神疾患、トラウマ、ライフサイクルに応じた困難などを対象とした家族・集団・地域支援、支援者のケアを中心に臨床活動を行っている。公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士



分科会⑥ 辻 広明（大池けいあい保育園・園長／「保育における子どもの権利を考える会」呼びかけ人）

小さいわたしの権利を守ってほしい

～子どもの立場に立ってみると関わり方が変わるはず～

1985年から14年間児童センターで子育て支援、学童保育所設立支援、野外活動や伝承遊び、親子遊びを指導。脱公務員して保育園長就任後も、子育て支援や育児サークル等で親子指導。小学校、保育士研修等で遊びの重要性を伝える。九州大谷短期大学で非常勤講師12年。保育心理士、言語保育セラピスト。

子どもの権利条約やこども基本法が制定されたものの、大人の都合が優先される社会に向けて子どもの視点から大人に語り掛ける「子ども憲章」を作ろうと、20数名が集まって検討してきました。一緒に子どもの立場に立ってみませんか。現在園長としての子どもを真ん中に置いた実践を交えてお話ししたいと思います。



分科会⑦ 丸茂ひろみ（みどの福祉会・業務執行理事）

制度の狭間に挑戦

～こども食堂やフードバンクから見えること～

社会福祉法人の地域貢献事業部として地域の困りごとをワンストップで対応できることをめざしています。子どもの貧困や虐待、ヤングケアラーや不登校など子どもを取り巻く問題に体当たりで取り組む現場の様子をお伝えします。ひとりも取りこぼさない地域になれるよう第三の居場所が増えるためのアドバイザーを今年度から県委嘱としても活動しています。



開会式 山形県からのご挨拶、こども家庭庁関係者から行政説明があります。最新の政策動向をご確認頂く機会として下さい。

分科会⑪ オンライン参加者の中で、情報・意見交換の機会を希望される方向けの分科会です。ここネット理事の高木早智子(花園第二こども園園長)をファシリテーターに、『支援センターしゃべり場』と題して、各センターでの悩み(行事中心になりがち、来所者が多すぎて対応しきれない等)や気づきを語り合います。山形までお越し頂けない遠方の先生方、是非、繋がりを合しましょう。

情報交換会 (2日目の朝) 現地参加者による情報交換会です。定期的に対話メンバーの入れ替わるワールドカフェで、新しい出会い、そこでの気づきを育て下さい。事前申し込み等は不要です。

子育て支援横丁 子育て支援センターや認定こども園による実践報告です。共有スペースでのポスター展示等ですので、プログラムの合間等の時間(2日目昼休み時に報告者対応あり)を活用してご覧いただけます。実践へのヒントを持ち帰ってください。また、発表希望も大歓迎です。事前に、ここネット事務局までご相談ください。